

アメリカ・カナダ訪問を経て

理学系研究科物理学専攻 博士課程 2年 馬場俊介

2016年10月19日から11月3日の間に、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の M. A. Malkan 教授、カリフォルニア工科大学の L. Armus 教授、コーネル大学の H. W. W. Spoon 教授を訪問し、筆者の研究について議論させていただいた。いずれの教授も筆者の研究分野である超高光度赤外線銀河や活動銀河の専門家であり、今後の研究を進めるうえで非常に有益なアドバイスをくださった。Spoon 教授には、コロキウムを行う機会もいただいた。スタッフ・学生の方々から多くの意見をいただくことができ、非常に有意義であった。

10月24日から28日は、モンリオール大学で開かれた James Webb Space Telescope (JWST) の研究会 “Exploring the Universe with JWST – II” に参加した。JWST は2018年に打ち上げ予定の NASA の赤外線宇宙望遠鏡であり、従来の宇宙望遠鏡より高い性能での観測が可能である。筆者はこれまでの研究結果と JWST を用いた場合の展望について発表した。研究会では第一線の研究者が各々の観測計画を発表しており、筆者にとっても今後の研究戦略を立てるうえで大いに参考になった。

最後に、今回の海外派遣で訪問を歓迎してくださった全ての方々、支援してくださった ALPS コース関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



JWST 研究会集合写真